

# + 研 修 報 告 書

報告書作成日：2024年9月24日

所 属	氏 名	研 修 実 施 期 間
明日の向日	林 リエ	2024年9月24日～9月26日
研修実施機関名	研 修 名	研修実施場所
公益財団法人全国市町村研修財団	SDGsと地域づくりの新たな視点～SDGを使って施策を考える～	滋賀県大津市唐崎町2丁目13番1号

研修内容	研修の内容及び日程	<b>令和6年 9月 24日(火)</b>	11:00～ 12:30～ 13:00～15:35	<b>入寮受付・昼食 開講・オリエンテーション 講義 自治体にとってのSDGs</b> ～導入意義、目的、施策展開の手法～ 慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 なぜ、自治体がSDGsに取り組むのか？ なぜ施策に反映させる必要があるのか？ 研修の冒頭講義として、自治体がSDGsを導入する意義や目的などについてお話しいただいた後、SDGsを行政の施策にどのように活用するのかその展開手法をお話しいただきます。
			15:50～17:00	<b>講義 自治体の総合計画とSDGs</b> 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)地域政策部 主席研究員 兼 港区政策創造研究所 所長 大塚 敬 氏 施策展開の柱となる総合計画にSDGsをどう組み込むべきか、これまで多数の自治体の総合計画策定に携わってこられた立場から、実務的にお話しいただきます。
			17:30～	<b>交流会</b> 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。
		<b>令和6年 9月 25日(水)</b>	9:25～10:35	<b>講義 SDGsを使って施策を考える～総合計画との関係～</b> 慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 SDGsを進めるために総合計画をどう活用するか、SDGsと総合計画の関係性をお話しいただきます。SDGsを実効性あるものとするための具体的な手法を考えていきます。
		10:50～12:00	<b>事例紹介 SDGsを施策にどう活かすか</b> ～総合計画への反映に向けて～ 京都府亀岡市企画調整課SDGs・企画推進係長 橋本 広明 氏 コーディネーター:慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 亀岡市は、SDGs未来都市および自治体SDGsモデル事業に選定されています。さまざまな施策を分野横断的に推進するとともに、意味のある総合計画へのSDGs組み込みを実現するため、職員、市民、事業者に向けた取り組みをお話しいただきます。	
		13:00～14:10	<b>事例紹介 SDGsを施策にどう活かすか～ビジョン策定～</b> 北海道下川町総務企画課主幹 葦島 豪 氏 コーディネーター:慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 下川町は、制度創設時に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されています。現在「第3期SDGs未来都市計画」において2026年までの取り組みを進めておられます。計画策定のプロセス、特にビジョンをどのように策定していかれたのか、お話しいただきます。	
		14:25～15:35	<b>事例紹介 SDGsを施策にどう活かすか～指標の設定～</b> 愛知県豊田市企画政策部未来都市推進課SDGs計画・国際業務担当副主幹 泉川 雅子 氏 コーディネーター:慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 豊田市は「SDGs未来都市」として選定されており、「SDGs先進度調査で全国第2位」となっています。施策を実効性のあるものとするため、指標の設定とモニタリングを具体的にされており、その手法を中心にお話しいただきます。	
		15:50～17:00	<b>意見交換 ディスカッション</b> 慶應義塾大学SFC研究所 上席所員 佐久間 信哉 氏 講義や事例紹介で学んだポイントを元に、受講者同士で意見交換をします。	
	<b>令和6年 9月 26日(木)</b>	9:25～14:10	<b>講義・課題演習 行政実務におけるSDGsの活用</b> 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教 高木 超 氏 行政実務の課題解決に向けてSDGsをどう活用するか、受講者の皆様より持ち参りいただく課題について、ワークショップを交えながら具体的に検討を行います。	
		14:10～14:40	<b>ふりかえり、研修アンケート記入、閉講</b>	

## 『SDGsと地域づくりの新たな視点～SDGを使って施策を考える～』

慶応義塾大学SFC研究所 佐久間信哉先生

『自治体にとってのSDGs導入意義、目的・施策展開の手法』について  
村井淳先生との関わりの中で慶應義塾へ。

### ◎SDGsができるまでの流れ

1972年国連人間環境会議→1992地球サミット(1987年ブルントラント・レポート次世代の資源を食いつぶさないのが持続可能な発展だ)→2000年国連ミレニアム開発サミット(国連ミレニアム宣言の採択→MDGsこちらは国連が作った8つの目標・発展途上国が中心になっている目標)2009年プラネタリーバウンダリーが出た(科学的な知見をすべて集めた。→2012年リオ+20(環境保全と持続可能な開発)→**2015年SDG採択(国連加盟国の全会一致)**)

### 2030アジェンダの構成

全文『人間、地球および繁栄のための行動計画』

『貧困を撲滅することが最大の地球規模課題』

『我々の世界を変革する』

『誰一人取り残さない』

『5P』

『経済、社会、環境の三側面を調和させる』

### 宣言

ビジョン・共有する原則と約束・新アジェンダ・実施手段・フォローアップとレビュー・行動の呼びかけSDGs(持続可能な開発目標)とターゲット・18の目標と169のターゲット

### 実施手段とグローバル・パートナーシップ・フォローアップとレビュー

国内レベル・地域レベル・全世界レベル

### SDGsの特徴としては

先進国を含め**全ての国が行動する**

人間の安全の理念の理念を反映し**誰一人取り残さない**

**全てのステークホルダーが役割を担う**

社会・経済・環境に**総合的に取り組む**

**定期的にフォローアップ**

気候正義について・・・COP

気候変動の問題は(因果関係を踏まえた加害者と被害者が存在する)国際的な人権問題であって、この不正義を正して温暖化を止めなければならない。この場合の加害者は我々先進国であり、被害者は多くの発展途上国および地球に生きる将来世代。

9月24日

### ◎SDGを取り巻く状況

国連のHPで毎年現状を発表している。現状は全然改善していない。

日本の評価は166か国中18位

世界に公表されている日本現状については飢餓が増えている。この日本で飢餓が増えている現実に私も胸をいためます。

世界で見ると、世界中で拡大する回復し難い貧富の差

例えば100万ドル以上持っているひとが5800万人 1・5%

その人たちが世界中の47.5%の富を持っている。日本は富があっても寄付をしない文化。大きな分断が社会での起こる可能性がある。

少し前まではリニアエコノミー→その次にリユース→サーキュラーエコノミーは最初から循環できるように設計してからものを作る。ヨーロッパの人たちはEUの経済指令が出ている。

### ◎ローカル(国や地方自治体)

2016年伊勢志摩サミットがあるのに合わせて急いで作った。SDG推進本部をつかった。本部長は内閣総理大臣。日本はVNRを提出しているけれど？目標を立てて図ることができていない。

2023年12月にSDGアクションプランを改定。

地方自治体に期待される役割として・・・地方自治体はSDGs達成におけた取り組みをさらに加速化させるとともに各地域の優良事例を国内外により一層積極的に発信供給していくことが期待されている。

SDGs未来都市を地方創生未来都市を増えた。認証制度は1500近い自治体がある中で6団体が認定制度を

2024年6月28日現在 ゼロカーボン宣言をしている自治体1112自治体

SDGsに対しても市民権を得ている。2018年では認知度が14.8%なのに対し2023年には91.6%と高くなっている。

食品ロスに取り組んでいるお店から商品を買いたいという購買傾向がある。

**E S D教育 持続可能な開発の為の教育。地球規模の課題を自分事として捉えてその解決する教育。学習指導要領の改訂。**

持続可能な社会の創りてとなることが教育の目標になった。これからの学校にはこうした目的および目標達成を目指しつつ、一人一人の生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓ひらき、持続可能な社会の創りてとなることができるようにすることが求められる。**SDGsネイティブともよべる世代が、今後社会のマジョリティとなる時代が到来する。**

### ◎自治体にとっての意義・目的

SDGsに取り組むことのメリット

- 1・住民のQOLの向上
- 2・ローカルアイデンティティの開拓と地域活性化  
(自治体固有の背景を踏まえた独自性のあるまちづくりの推進)
- 3・経済・社会・環境政策の統合  
(課題解決と新しい価値の創出)
- 4・パートナーシップの推進  
(自治体内や内外の自治体間のパートナーシップのベストプラクティスの共有)
- 5・国際動向の把握(国際協力と国際発展)

### ◎自治体にとっての意義と目的

将来のビジョンを行政・市民・企業・NPOなど、地域の様々なステークホルダーと共有できるようなプロセスこそが重要。

自治体で取り組むために

- 1・総合計画に盛り込む→自治体の再叙位計画である総合計画とSDGsの取組をリンクさせる(総合計画に盛り込むのが一番よい。)
- 2・個別の戦略や計画に盛り込む→自治体ガン策定する個別の戦略や計画にSDGsの要素を盛り込む。(地方版総合戦略・都市計画マスタープラン・環境基本計画等)
- 3・独自にSDGs取組計画を練る→既存の計画等にとらわれずに、SDGsの概念を組み込んだ個別の戦略や計画を練る、(SDGs取組計画)

SDGsコンパスを活用するとよいVLR

<https://www.city.sado.niigata.jp/uploaded/attachment/46472.pdf>

国の方針にはVLRに取り組むべきだといっている。

SDGsウォッシュを避けるために

- 1・根拠がない情報減が不明な表現を避ける
- 2・事実よりも誇張した表現を避ける
- 3・言葉の意味が規定しにくい曖昧な表現を避ける
- 4・事実と関係性の低いビジュアルを用いない

ずっと無駄だと思っている政策や補助金等をより有効に活用するためにSDGsを取り入れる。単一で考えるのではなく17の項目で総合的に考え多くのステークホルダーをまきこくことでより素敵なアイデアが見つかる。

東大の先生が役員にみんななりたがらない。民間に行く。一番期待してない人が国のキャリアになった。役所も政治家も魅力がない。

若い人にとって魅力があるかはサステナに取り組んでいるかどうかをアピールできるかどうか。SDGsに熱心な行政の取組、地域のブランド化。下川町はSDGsでまちづくりに成功した。みんなで話し合っって地域を愛してブランディングできる可能性がある。

まちの暮らしやすさと幸福度が上がる。地方自治の一番の目標は住民自治の向上。ウェルビーイング・自分の街に住んでいることを市民が誇らしいと思える。

質問・・・SDGs 和歌山 人材不足 SDGs はそれがあれば成功するのではなく地域活性化の必要条件でしかない。地域の資源をどう活用するのか。自分たちのまちだけでできなければ今までとは違うアプローチをしてやってみる。衰退しないまちはない。町がなくならないための条件は何か。

理想的に言えば自治体の若手から機運が先進的な取り組み含め、大事なことは職員の理解も大切だけど、理解が足りないトップいたら反応しない。

議会で市長の見解をきく。援護射撃をする。議会がつくることは大切。

### 『自治体の総合計画と SDGs』 大塚敬さん

三菱 UFJ リサーチコンサルティング株式会社  
自治体で働いている。東海大でも教員をしている。

そもそも総合計画とは何か？

行政活動の効率性・有効性が高まる。

有効性の向上

・行て居活動を計画的に行うことで、場当たりな対応がなくなり無駄がなくなる。総合計画では計画期間 3 年から 5 年の基本計画や実施計画により事業の中期的な計画を明らかにしている。

毎年度の予算はこの計画を指針として策定されており、これにより、毎年の事業が中期的な視点を踏まえて遂行されることとなる。

1060 年代総合計画がなく、国の方針に従って仕事をしていた時期がある。

この組織は組織もツールもなかった。国の施策に合わせた計画はあった。企画調整部門すらなかった。このわけのわからないもの部門としてつくられた。

自治体の最上市政全般をコントロールする部隊ができた。

この時期に地域の総合的な計画を作ろうという動きがあった。国が自治法に位置付けて作られた。国からの通達行政があった。今は通知になり従わなくてよかった。

総合計画は開発の為の指針を果たす時期があり、2000 年前後に協働という言葉が出てきてどんな風にみんなで豊かになっていくかそんな時代へ変化。

法律で決まっているのは総合計画のみ。

総合計画の一般的課題。

他の自治体と比べて充実しているかを議会に問われる。10 年後振り返ってみて財源が足りずにできない。重点プロジェクトを計画に位置付ける。



## 『SDGsと地域づくりの新たな視点～SDGを使って施策を考える～』

慶応義塾大学SFC研究所 佐久間信哉先生

『SDGsを自治体の計画に反映する手法』

1・一関市マッピングを参考事例に一覧性が高い。



◎神奈川県知事 未病指標を作った

単線的な捉え方→病院で治療を受けて→治らなければ施設へ→死ぬではなく  
独自の未病を防ぐ施策を考え実行

9月25日



神奈川県では平成29年3月29日に「かながわ未病改善宣言」を発表し、健康寿命を延ばすため「未病を改善する」取組を進めています。

この宣言では、2つの理念と重要な3つの取組を掲げ、全ての世代が未病を自分のこととして考え、行動していくよう、ライフステージに応じた未病対策を進めています。

### // 2つの理念

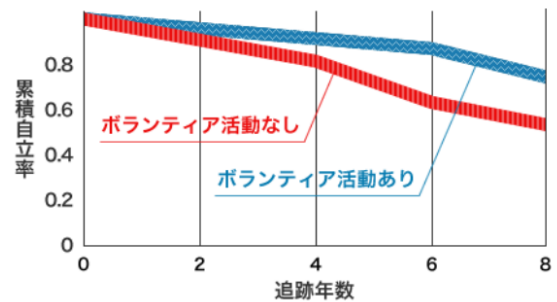
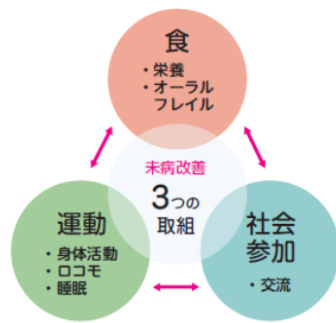
理念1	「超高齢社会を幸せに生きるには未病改善が大切だ」という価値観を県民文化として育て、人生100歳時代に向けた「スマイルエイジング」を実現します。
理念2	そのため、未病改善について皆で学び、県民一人ひとりとはもとより社会のあらゆる主体が協力しあって、ライフステージに応じた未病改善の取組を展開します。

### // 3つの取組

食	毎日の食生活を見直し、健康的な食生活へ改善すること。オーラルフレイル <sup>(注釈)</sup> 対策も重要です。 <small>(注釈) 心身の機能の低下につながる口腔機能の虚弱な状態</small>
運動	日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の良い睡眠も重要です。
社会参加	ボランティアや趣味の活動等で他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。ボランティア活動をしている人のほうが、より自立度が高いというデータも、人との交流が健康的な暮らしをもたらすということを証明しています。

## 未病改善の取組

詳細は[健康医療局保健医療部健康増進課](#)をご覧ください。



[かながわ未病改善宣言\[PDFファイル/166KB\]](#)、[参考資料\[PDFファイル/471KB\]](#)

右グラフ出典:東京都健康長寿医療センター研究所長期継続研究 (TMIG-LISA)

改めて全ての人にボランティアや地域との繋がりを持つことの重要性を感じた。

SDGs 総合計画 SDGs 未来都市は 200 を超えた。1033 の自治体で 891 ある。非常に早い段階で右肩上がりが増えてきている。93%の自治体が SDGs を総合計画に反映している。SDGs を入れる目的は新しいものをするのではなく、SDGs によって再点検をしたり SDGs をツールに新たに総合計画に反映することによって打ち出していく。

### 『SDGs 未来都市亀岡』

SDGs を施策にどう活かすか～総合計画への反映に向けて～

亀岡市 企画調整課 係長橋本広明さん

2022 年 7 月に未来都市・近畿では 10 番目 自治体 SDGs モデル事業に選定。近畿エリアでは 2 例目。2023 年 4 月 SDGs 創生課をつくった。

2024 年 4 月創生課から企画調整課で引き続き活動をしている。

担当者レベルにヒアリング。野球部をやっているので後輩に確認。3 年半前に SDGs を知らない職員が多い。課長以上にヒアリングしていくと部長と課長は知っている。

担当になったけどどうしたらいいか。バッチつけよう。自分たちのゴールを貼り付けたらどうかという意見がでた。2018 年から亀岡は環境と芸術部門が連携しながら認定をもらっている。

#### 総合計画→基本方針→個別計画

自分事としている職員を増やすことが大切だと感じた。

総合計画に落とし込む(ゴールの貼り付け)

だけでは意味ない・意識は変わらない・政策に活かさない

**合言葉は MIJI-SUS(みぢさす)ここを一番前にだしている。**

身近なサステナブルに来井月・MIJISAS を見つけたら自分事として考える。できること

からやってみる。そういう人(職員)を一人でも増やしたい。そういう人(職員)=SDGs 政策にいかせること。

### 1・亀岡での実施体制

市長がトップの関係性の係長が実施部隊

### 2・職員向けの取組

係長級研修

・令和3年度100人いる。係長が一番仕事が多い。令和3年カードゲームを活用して講師を招いて勉強した。3割くらいは目が死んでる。忙しいのに何でこんなことするの？オンライン講座に変更。期間は3カ月の40分動画を見てもらう。受講した係長は職場で身近なサステナを探してください。勉強会を開いてワークシートで回収。

DX紙をなくす。亀岡市は空き家問題がある。移住者は増えている。選ばれているまち。空き家バンクの制度を利用したいと人を紙でしていたけれど、全てオンライン化で実施。

新規採用者に半年後に3日間研修。今の若い世代はなじみがあるのでもっと街を愛せるような学びができないかを考えてアップサイクルを作って学んで、自分で作る、身につけるをしている。パラグライダーで飛んだ生地でカバンをつくった。

「はずばっく」マイバック持参率98%。

パラグライダーの紐を使って名前を付ける紐をつくる。

管理職研修(係長から副市長)2012年第6次計画を作る

古い考えから新しいことをやってみよう！という価値観を上層部に学んでもらっている。

SDGsチェックリスト(職員用)

年間10件の視察の内8件はこの件

利用している人が偏ってきた。環境、農林振興、商工、病院等は活用しているが河川や道路は全然使ってくれない。作る時も現場の職員からヒアリングして作っている。

東京大田区も取り入れている。

今後は情報共有することで自分たちの仕事を減らすためにSDGsを活用できる。

スクラップできるということを考えている。

### 3・企業向けの取組

職員と一緒に取り組んでい企業。パートナー宣言制度90社(令和6年8月現在)内6社くらいが意識高い。その下に10社。その他はあまり意識は高くない。

認証制度にしなかったのは、京都信用金庫がやっている認証制度を立ち上げるとメリット部分が独自性を出さないと認証制度をするのは労力がかかる。メリットは特設サイトをつくってパートナー企業をHPに掲載や情報を流す。

・パートナーとの情報交換会(勉強会)

テレビや雑誌で紹介されるような大きな取り組みではなく、身近にできることから。

年に4回実施。情報交換会をするときには市内で活躍されている事業者にも話してもらう。



勉強会からパートナーとの働き方改革

・女性の働く環境整備をしていきたい。働く女性からヒアリングする。亀岡市内の3回生女性3人2時間ヒアリング・その次亀岡市内で働いている未婚者・子どもがいない人のヒアリング3名・育休中で休んでいる人3人・育児休暇が終わって復帰した人3人のヒアリング。会社の規約を変えましたという企業もでてきた。

#### 4・市民向けの取組

230万という予算で実施しているので、亀岡市内のスーパーまつもともパートナー企業。SDGs市民にSDGsに気付く仕掛けやPOPづくり。

市の広報誌や議会だよりにも身近なSDGs

『京滋SDGsプロジェクトを実施』

10月13日岡崎公園にてSDGsどんぶりを出す。

SDGs認知度調査やっていますか？議員から言われる。予算0でできる。ロゴフォームを使って無料でできる。8万7千にんだと400人サンプルをとる必要がある。

結果的に94% 電通が朝日新聞の調査よりかは亀岡高い

市民の声を3000人対象にしている。今までは無作為でアンケート封書でやっていたが今年はオンラインでしたいということで、今年度は全てオンラインで実施する。総合計画の反映には模索中。本当の意味でSDGsを推進できる職員を育てていくことが大切。

質問・・・パートナー企業に対してどの様にしていますか？

強会は年4回。ダイレクトメールやHPを止めない。どんな細かいことでもいいから常に動いているんだなという意識してもらえるように動いている。

国も認証制度に進んで行って欲しいという流れがあるが・・・

やるなら亀岡市なりのパートナー協定三井住友と損保と組んでいる。大津市SDGs事業に関しては特別な融資がある。

#### 『SDGを施策にどう活かすか』ビジョン策定

北海道下川町総務企画課SDGs推進戦略室

『私たちのまちにとってのSDGs』

SDGsを取り入れる文脈を探ることが大切。

林業を真ん中に事業をまわす。10基バイオマス50%公共施設70%

集落エネルギー自給率をまかなえるまちづくり。コンパクトタウン

人口も社会動態もプラスに転じる年もでてくるようになった。再エネを使うことにCO2排出がマイナス20%。2017年第一回ジャパンSDGsアワード受賞。(下記添付)

現在の経済社会構造で持続できるか？

社会の将来図2030年を出した。現実を見た際に待たなしの現状を把握。人口は減



社会動態もプラスになってきている。移住してきて起業する。再エネ使ってエネルギーを使う

ビジョンをつくる。



SDGsを取り入れたメリット。

1・チェックリスト 17の目標から地域を見つめなおすことによる新たな課題の発見や気づき

- 2. バックキャストイング 将来から現在を見てこの実現のための手を打っていく良質なまちづくり
- 3・ブランディング SDG s フレームを通じてビジョンや取り組みを発信、ブランドやプレゼンスの向上
- 4・パートナーシップ 様々な出会い連携による新たな展開

バイオマス2004年北海道で初めて導入。10期ボイラーを設置。

モックスを使ったほうが高かった。バイオマスを使ったら高いけど、地域にお金が落ちるからバイオマスを導入しようという決意があった。化石燃料はこれからも価格はあがっていくので年間3800万削減効果がある。浮いた分は半分はボックス更新経費。半分は子育て政策に活用する。地域全体で恩恵を分かち合いたいと、中学生までの医療費や給食費無償化。

コンパクトタウン。地域活性化をしている。町営住宅ではバイオマスでまちづくりをしている。木材加工とセットにならないと難しいという課題はある。

### SDG s 施策にどう活かすか 指標の設定。

#### 豊田市役所 企画制作部未来都市推進課 泉川雅子さん

本日の講義内容

- ・豊田市の取組

人口40.1万人のまち 市域の7割が森林を占める『日本の縮図都市と中山間地の共存』そんなまち。SDG s 未来都市に選定。2018年6月。豊田市は県内第一号。  
豊田市の取組『ミライのフツー』とは？

SDG s 未来都市計画 とよ SDG s パートナー制度 目的は官民連携・共同の推進  
482団体が入ってパートナー企業もしているけれど、新たなプロジェクトが生まれないので、再度登録をし直して気持ちを新たに、慶應大学プラットフォームクローバーを活用してパートナー制度を活用している。

都市部 豊中市繋がる社会実証推進協議会

山村部 おいでん・さんそんセンター

豊田市 SDG s 認証制度

昨年度から認証制度始めた。3回目の認証が終わる。年に2回上限50社の各種補助金の上乗せ・講座参加費減免・市の入札加点・PRなど

市民には 『カードゲーム』豊田 SDG s マスター

- ・自治体モニタリングの世界的な流れ

2030年前中間地点。昨年中間地点でどうなっているのか？

アウトプットだけでSDG s が達成するのか？ アウトカム(結果に拘る)

	<p>世界の中で日本がどうかという視点。          全都道府県のSDGs達成度をゴールごとに公開</p> <p>外務省がSDGs実施指針計画版2023年12月に反映されている。          その政策が達成するかどうかが大切。169ターゲットの内15%しか軌道に乗っていません。達成に向けて急がなければならない。          モニタリング結果が見えてきているので、SDGsの強みと弱みが解ってきているので、出来ていないところはどうすれば達成できるかを</p>
--	--

<p>9月26日</p>	<p>『SDGsと地域づくりの新たな視点～SDGを使って施策を考える～』          行政実務におけるSDGsの実践 高木コスモ先生 慶應義塾大学院政策メディア研究科 特任助教</p> <p>持続可能な開発目標          Sustainable Development(発展)Goals</p> <p>S=すっげえ          D=でっけえ          G=ゴール</p> <p>SDGsをざっくりと説明すると・・・</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1・世界中が共通して取り組む目標 世界中で進めている共通言語である</li> <li>2・達成期限は2030年 残り6年しかない。行動を加速しないといけない。</li> <li>3・17目標169ターゲット231指標で測って進捗をみている。</li> </ol> <p>今日のポイントは          SDGsの眼鏡をかけてみてください！</p> <p>ジェンダーギャップ指数 1位はアイスランド          日本は146か国中118位          経済120位 教育72位 健康58位 政治113位</p> <p>◎問いを生み出す力を磨くことがSDGsを目標として捉えるだけでなく、問いにする。          SDGsの切り口に問題点をみつめる。</p> <p>既存の施策にSDGsを貼り付ける。          まず自分たちの政策がSDGsが貼り付けられなかった問題を見つめる。</p> <p>持続可能な開発の定義37年前          将来の世代の欲求を満たしつつ、現在の世代の欲求も満足させるような開発。          皆のニーズを満たせるようなことを考えて行こう！</p>
--------------	---

世界中の人が日本人と同じ暮らしをした場合地球が2.8個必要。

2024年SDGs達成度ランキング 167か国中18位  
得意なものは9番 苦手なのは5・15・14・12

昨年21位今年は18位。

昨年達成していた4番が達成済みではなくなった。(質の高い教育をみんなに)

14番。使い捨てプラスチックの話。

ペットボトル・ストロー・レジ袋等 12番。作る責任・使う責任が関係が深いと思う。

2016年に発表このままいくと2050年までに世界で海洋中に存在するプラスチックの量が魚の量を超過するとされている。

肥料カプセルがマイクロプラスチックの破片が海に多く流れている。

2021年1月時点でプラスチックレジ袋を禁止する条例を実施しているのは、  
1718自治体の基礎自治体の中で1団体のみである。

自治体は制度を作ることができる。条例を使い進むべき方向へ進めていくことができる。

社会を丸っと変えないと2024年の常識を過去のものに！

過去を懐かしく思う、その時の常識、今は変わってきている。その時の常識は私たちが  
変えることができる。

SDGsの理念

誰一人取り残さない SDGs ウェディングケーキ (住民対象に説明するには  
わかりやすい)

2018年 87団体 当時SDG推進していない

2023年 1174自治体(79%) 内閣府の調査 979自治体(65.9)%が  
総合計画に取り入れている。2024年7月 全国調査では既存施策とアイコンを貼り  
付けるSDGsマッピングをしている自治体が殆ど。政策の改善にも使わないといけない。  
SDGsブームにおどらせられていいのか？

インターリンクージ(いろいろなものは繋がっていますよ)

ターゲット9のインフラを改善をすると11・8などにも繋がる。一つの取組を一生懸命  
取り組むことによって、ほかにも想像効果(シナジー)がある。

文字はUD(ユニバーサルデザインフォント)を使うこと。私もこの報告書はUDを使う  
ことにしました。

## SDGs を反映した総合計画の姿

### 1・重点戦略（プロジェクト）

さいたま市は施策動シナジートレードオフなども分析して開示する。

経済・社会・環境の3面足に配慮した施策の検討。石川県白山市が良いサンプル

### 2・通常の施策・事務事業

SDGs の眼鏡を使って SDGs の視点を考える。

地方創生 SDGs ローカル指標 256 数・自治体は

VNR を作る街が増えている。

自治体の行政区域だけで問題を解決しない。北海道と沖縄でふるさと納税で商品化している。重要なのは様々な視点を持つことが大切。SDGs 眼鏡を見る。日本が4番の理由は教育に対して4番達成度が差 d があったのか。学生習熟度調査 PISA の順位が下がった。スコアがさがったので今回達成になっていない。

先生から最後に・・・コメントブームとして捉えられている。お知らせで終わっている。今積み重ねた知見を、それを各自治体にレガシーとして残していきたい。

私の学び・・・いかに SDGs を自分毎に出来るかが大切だと感じた。また他市の総合計画をや向日市の総合計画をじっくり見たことがなかったので、まちにとっての総合計画がいかに大切かを知った。また11名中総合計画に SDGs を取り入れていないのは向日市だけで、SDGs 未来都市認定を受けている市の方々ばかりで少し恥ずかしく感じた。どうして向日市はこれだけ SDGs と言われている中で取り入れていないのか逆に？調べて教えてもらいたいと思った。過去の答弁も検索してみると、脱炭素先行地域に選ばれているからだと言われていたが、選ばれているからこそ、より加速するために利用したらいのにと感じた。SDGs をうまく活用しながら向日市も未来都市へ変貌したいと感じるし、SDGs の観点から物事を見ると、果たして現開発が持続可能なのか？とすら疑問が出てきた私があります。まずは本市としても SDGs を市の中に取り入れる事、2030年以降にも継続した取り組みがなされるので、その一歩を歩みたいと感じた研修でした。また亀岡市の様に外部の先生を招いて市民全体市役所全体で学ぶ機会を作りながら、丸っと改革するくらいの価値観の総入れ替えが必要だとも感じました。コスモ先生を向日市のアドバイザーになっていただきたいと強く感じました。



